

# 7. 防災指針

## 7-1 防災指針について

居住誘導区域内における安全・安心な居住環境を維持・確保するため、本市の災害リスクを分析することで災害危険性に対する課題を再認識し、ハード・ソフトの両面から取り組むべき防災・減災対策の方針として「防災指針」を整理します。「防災指針」は、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針であり、当該指針に基づく具体的な取組と併せて立地適正化計画に定めるものです。(都市計画運用指針)

## 7-2 災害ハザード情報の整理及び災害リスクの高い地区の抽出

### (1) 災害ハザード情報の整理

本市において想定されている災害ハザード情報は以下のようなものがあります。

種別	区域等
水害 (洪水)	<p><b>洪水浸水想定区域</b></p> <p>■計画規模 L1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水想定区域(浸水深) (図1 (P72))</li> </ul> <p>■想定最大規模 L2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水想定区域(浸水深) (図2 (P73))</li> <li>・浸水継続時間(想定し得る最大規模の降雨による浸水で浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間) (図3 (P74))</li> <li>・家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) (想定し得る最大規模の降雨により、近くの堤防が決壊した場合などに、一般的な建築物(家屋)が倒壊・流出する危険性が高い区域) (図4 (P75))</li> </ul> <p>※洪水浸水想定区域図：水防法で指定された河川(洪水予報河川、水位周知河川)が氾濫した場合の浸水が想定される区域及び浸水深、浸水継続時間について愛知県が公表しているもの</p> <p>※計画規模 L1：河川整備において基本となる降雨(香流川は30年に一度の確率)による浸水</p> <p>※想定最大規模 L2：想定し得る最大規模の降雨による浸水</p>
	<p><b>浸水予想図</b></p> <p>■計画規模 L1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水深(図5 (P76))</li> </ul> <p>■想定最大規模 L2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水深(図6 (P77))</li> <li>・浸水継続時間(想定し得る最大規模の降雨による浸水で浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間) (図7 (P78))</li> <li>・家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) (想定し得る最大規模の降雨により、近くの堤防が決壊した場合などに、一般的な建築物(家屋)が倒壊・流出する危険性が高い区域) (図8 (P79))</li> </ul> <p>※浸水予想図：水防法で指定された河川(洪水予報河川、水位周知河川)において公表されている「洪水浸水想定区域図」のほか、水防法の指定区間外(上流部や支川)についても浸水リスク情報として愛知県が公表しているもの</p> <p>※計画規模 L1：河川整備において基本となる降雨(香流川は30年に一度の確率)による浸水</p> <p>※想定最大規模 L2：想定し得る最大規模の降雨による浸水</p>

種別		区域等
土砂災害		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域 (図9 (P80))</li> <li>・土砂災害特別警戒区域 ( // )</li> <li>・急傾斜地崩壊危険区域 ( // )</li> </ul> <p>※土砂災害警戒区域：愛知県が指定した土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域</p> <p>※土砂災害特別警戒区域：愛知県が指定した土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域</p> <p>※急傾斜地崩壊危険区域：愛知県が指定した急斜面の崩壊によって被害を受ける一定以上の人家や公共施設がある場合、土地を触る工事によってその急斜面に悪影響を及ぼすと考えられる一定の範囲</p>
		<p>震度分布 (図10 (P81))</p> <p>※愛知県「東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」(2014 (平成26)年)</p>
		<p>液状化危険度 (図11 (P81))</p> <p>※愛知県「東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」(2014 (平成26)年)</p>
地震	ため池	<p>ため池浸水想定区域 (図12 (P82))</p> <p>※満水の水が溜まっているため池の堤体が決壊した場合に浸水が想定される区域</p>

### ■洪水浸水想定区域（計画規模L1）

本市において、計画規模降雨での浸水は想定されていません。

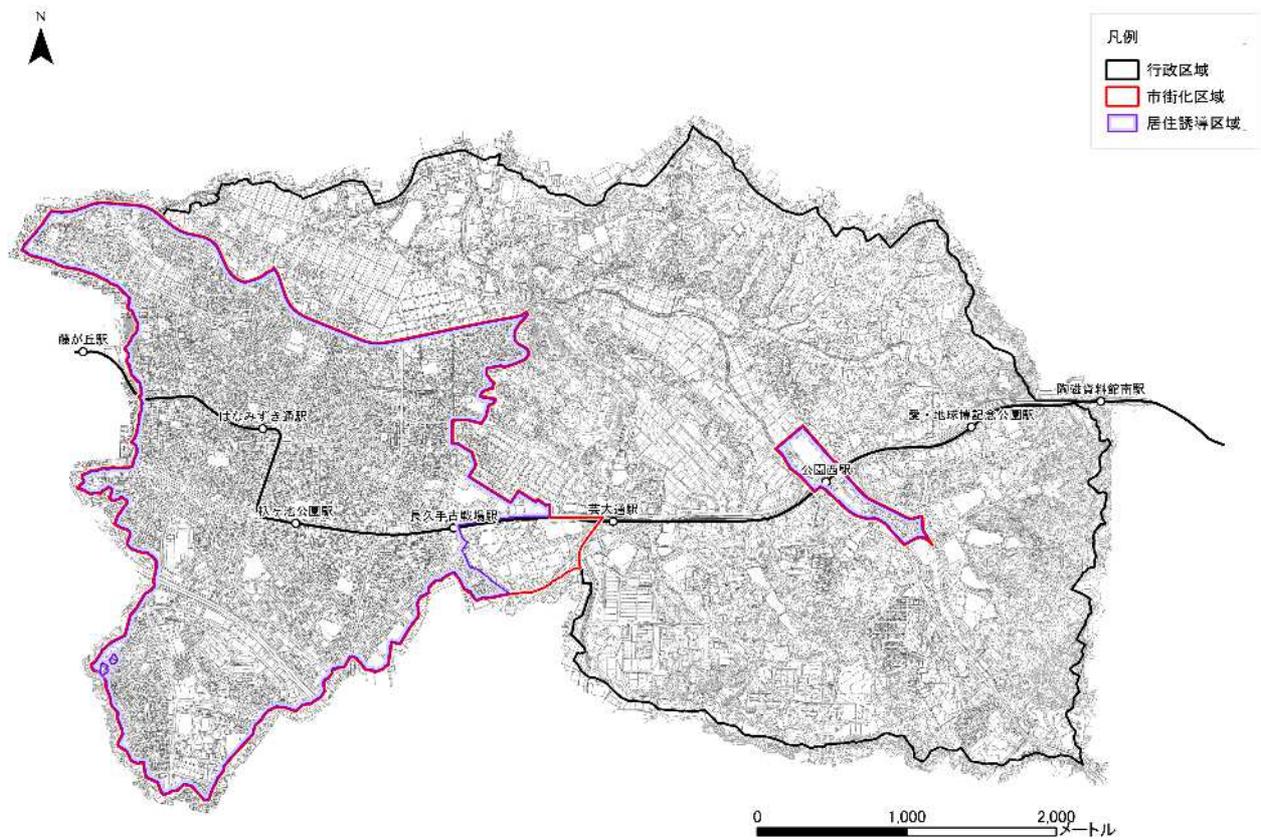


図1：庄内川水系香流川洪水浸水想定区域図（計画規模）

（資料：愛知県資料）

## ■洪水浸水想定区域（想定最大規模 L 2）

市街化区域の香流川周辺の一部で浸水想定区域がみられ、床上浸水被害が想定される浸水深 0.5m 以上の浸水も想定されています。2階建ての建物で垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水は想定されていません。

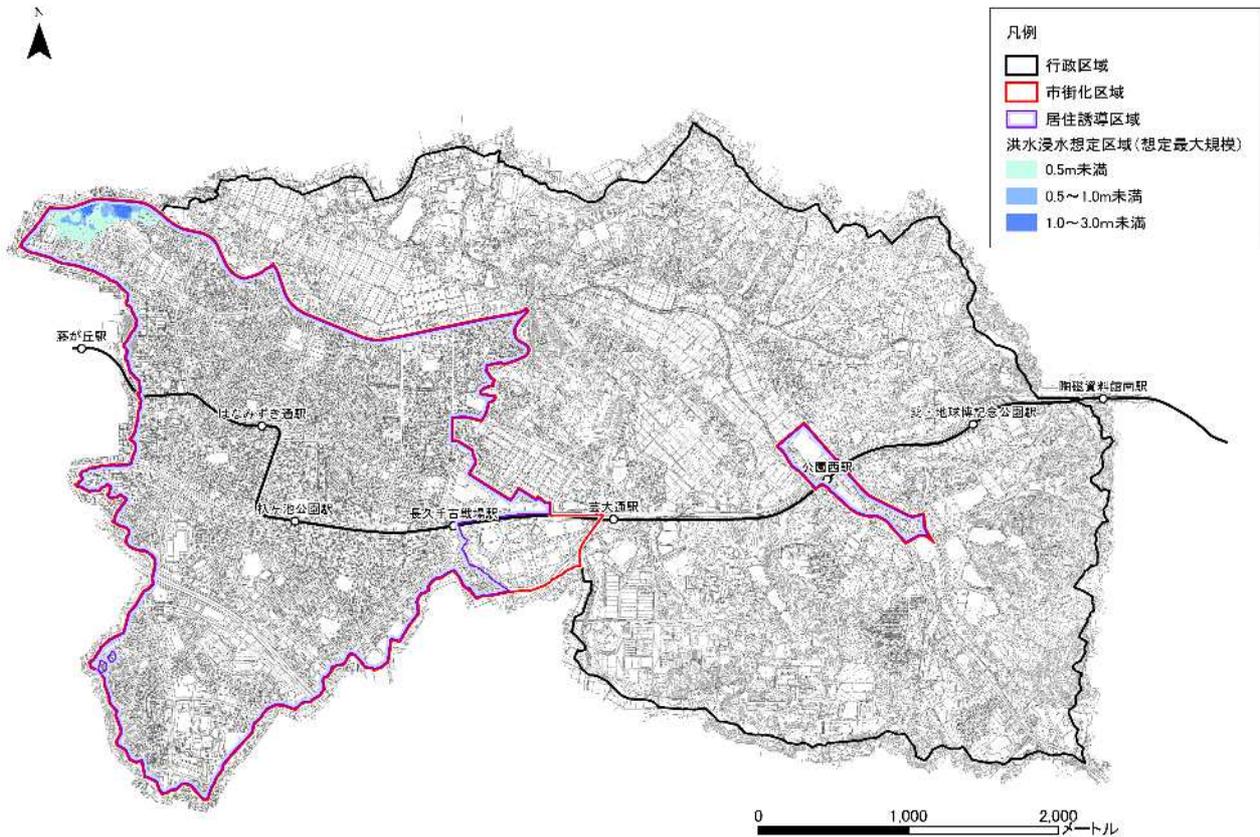


図 2 : 庄内川水系香流川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

（資料：愛知県資料）

### ■洪水浸水想定区域（浸水継続時間：L2）

浸水継続時間（浸水深0.5m以上の浸水が継続する時間）をみると、おおむね12時間未満であり、孤立によって健康障害の発生や最悪の場合は生命の危機が生じる恐れがあるとされる3日以上浸水は想定されていません。

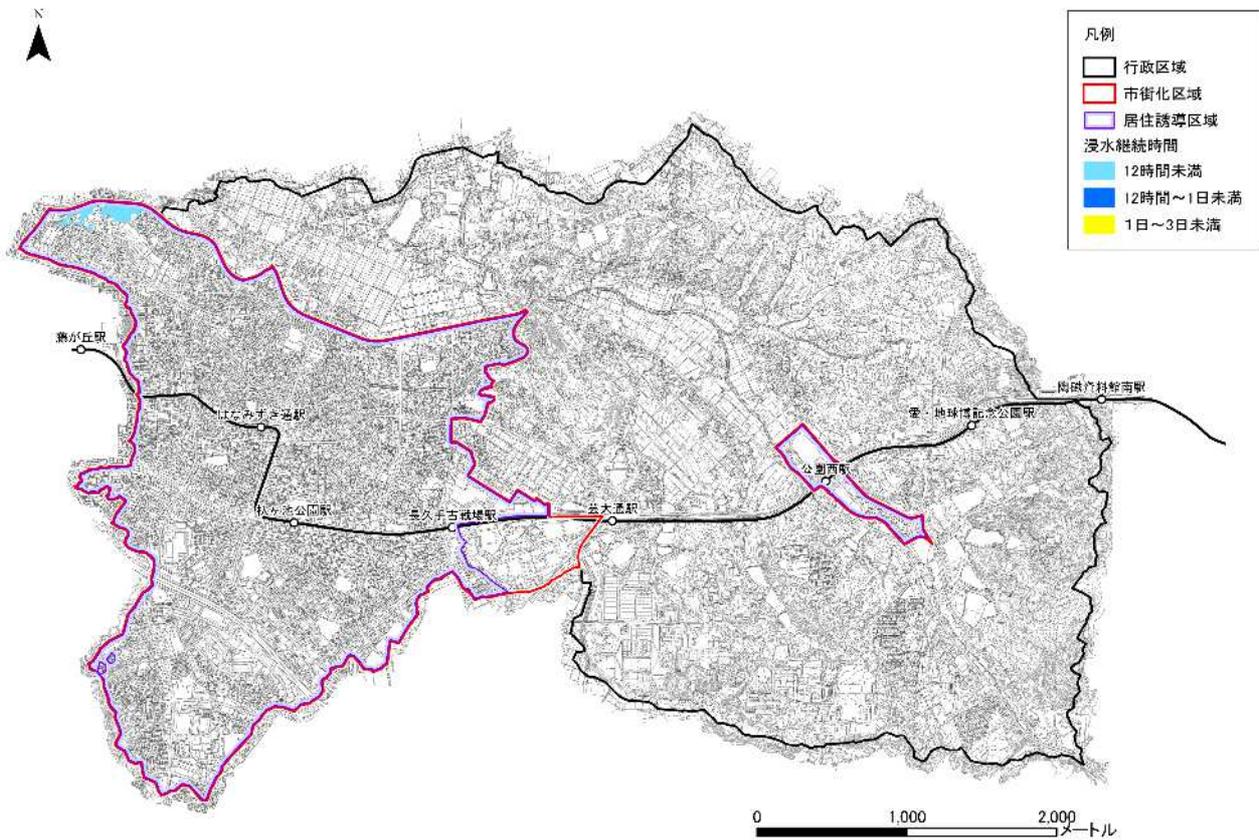


図3：庄内川水系香流川洪水浸水想定区域（浸水継続時間）

（資料：愛知県資料）



## ■ 浸水予想図（計画規模 L 1）

床上浸水被害が想定される浸水深 0.5m 以上の浸水が市街化区域の香流川周辺の一部の地域で見られます。2 階建ての建物で垂直避難が困難な浸水深 3.0m 以上の浸水は想定されていません。

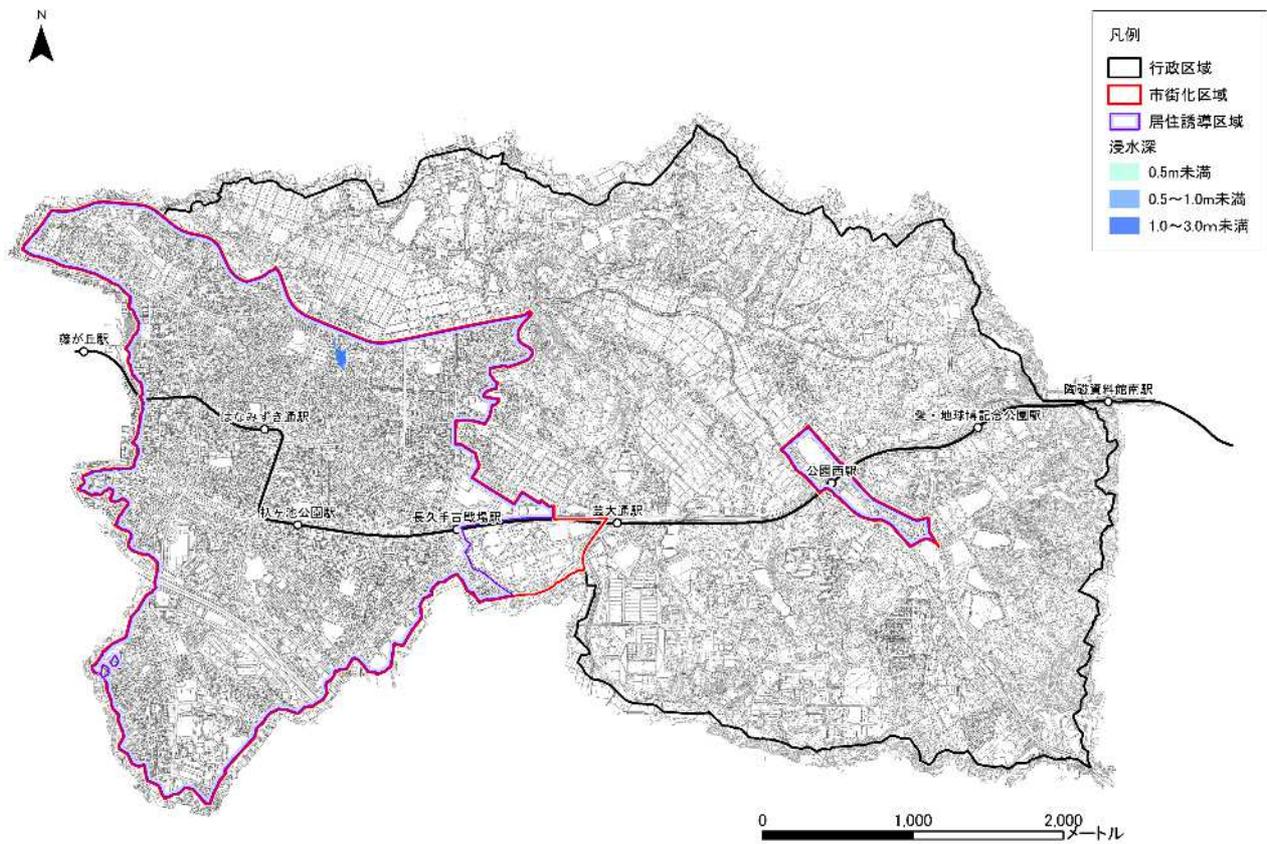


図 5 : 庄内川水系矢田川・香流川流域浸水予想図（計画規模）

（資料：愛知県資料）

## ■ 浸水予想図（想定最大規模 L 2）

市街化区域の一部で浸水想定区域がみられ、床上浸水被害が想定される浸水深 0.5m以上の浸水も香流川周辺の住宅の立地する地域で想定されています。加えて2階建ての建物で垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水が一部の市街地で想定されています。

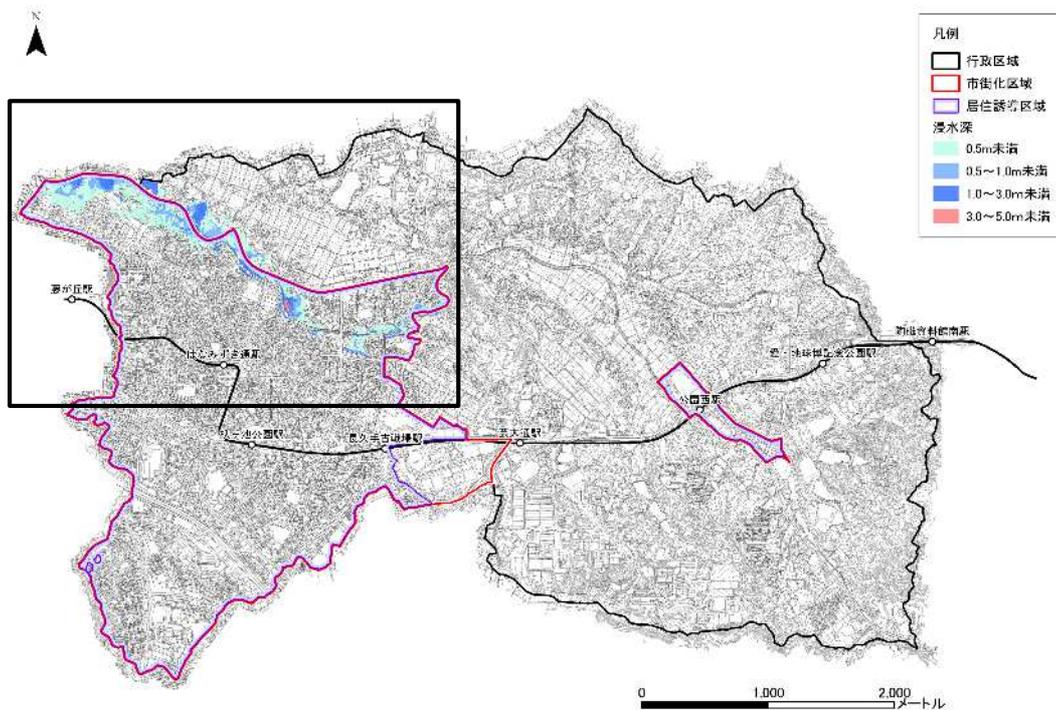
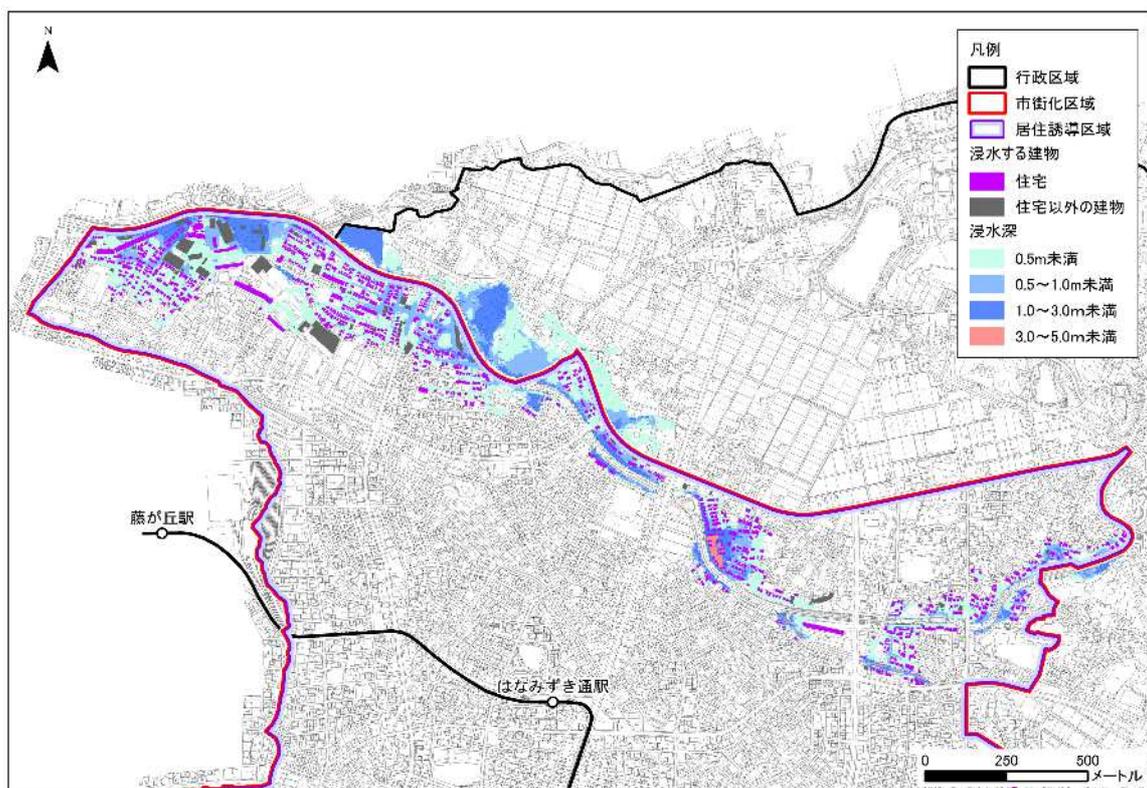


図6：庄内川水系矢田川・香流川流域浸水予想図（想定最大規模）

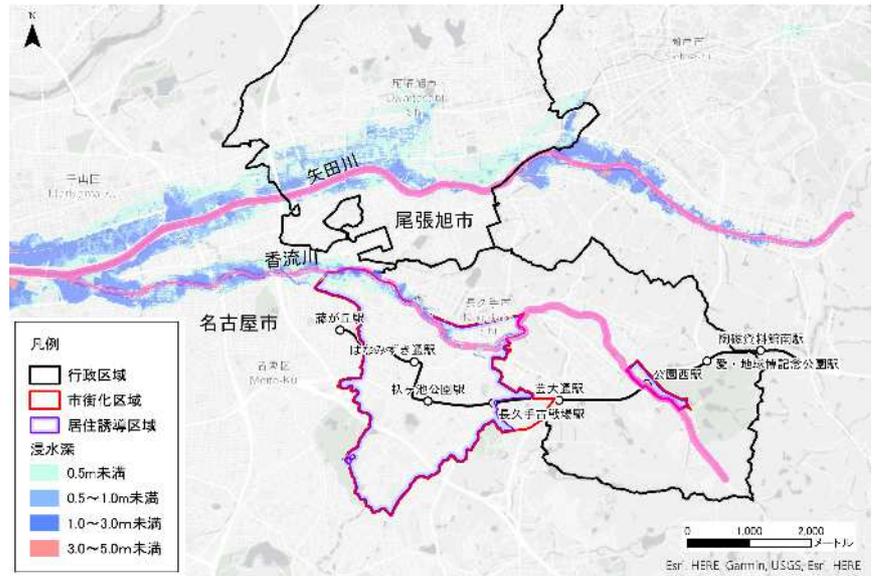
（資料：愛知県資料）



浸水が予想されている地域の拡大図

**(参考) 浸水予想図 香流川・矢田川の関係 (想定最大規模 L 2)**

香流川は名古屋市で一級河川矢田川に合流します。矢田川は本市北側に隣接する尾張旭市を横断していますが、矢田川からの直接的な浸水被害は想定されていません。

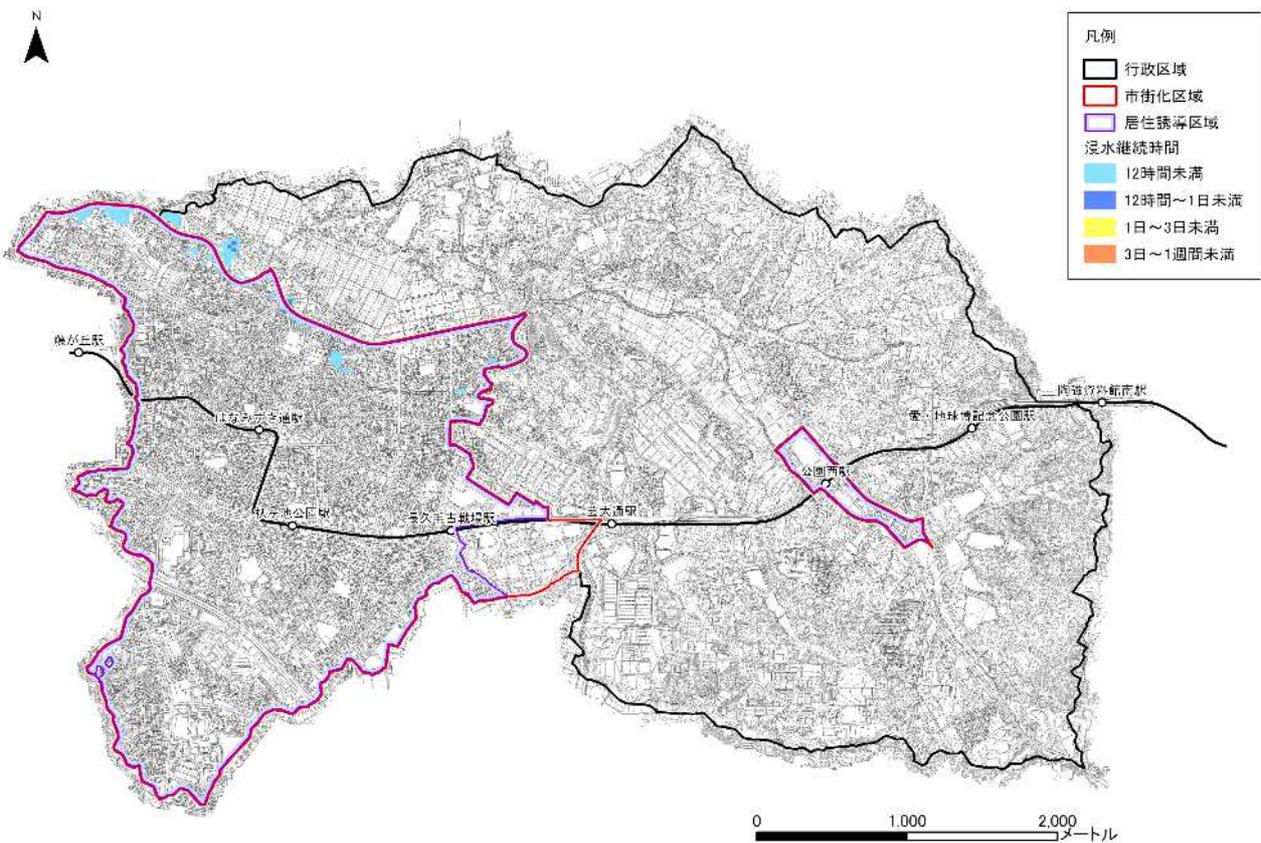


**図：浸水予想図 (広域) 想定最大規模 L2**

(資料：愛知県資料)

**■ 浸水予想図 (浸水継続時間：L 2)**

浸水継続時間 (浸水深 0.5m 以上の浸水が継続する時間) をみると、おおむね 12 時間未満であり、孤立によって健康障害の発生や最悪の場合は生命の危機が生じる恐れがあるとされる 3 日以上浸水は想定されていません。



**図 7：庄内川水系矢田川・香流川流域浸水予想図 (浸水継続時間)**

(資料：愛知県資料)

■ 浸水予想図 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食：L2）

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある家屋倒壊等氾濫想定区域が市街化区域の香流川周辺の地域で見られます。

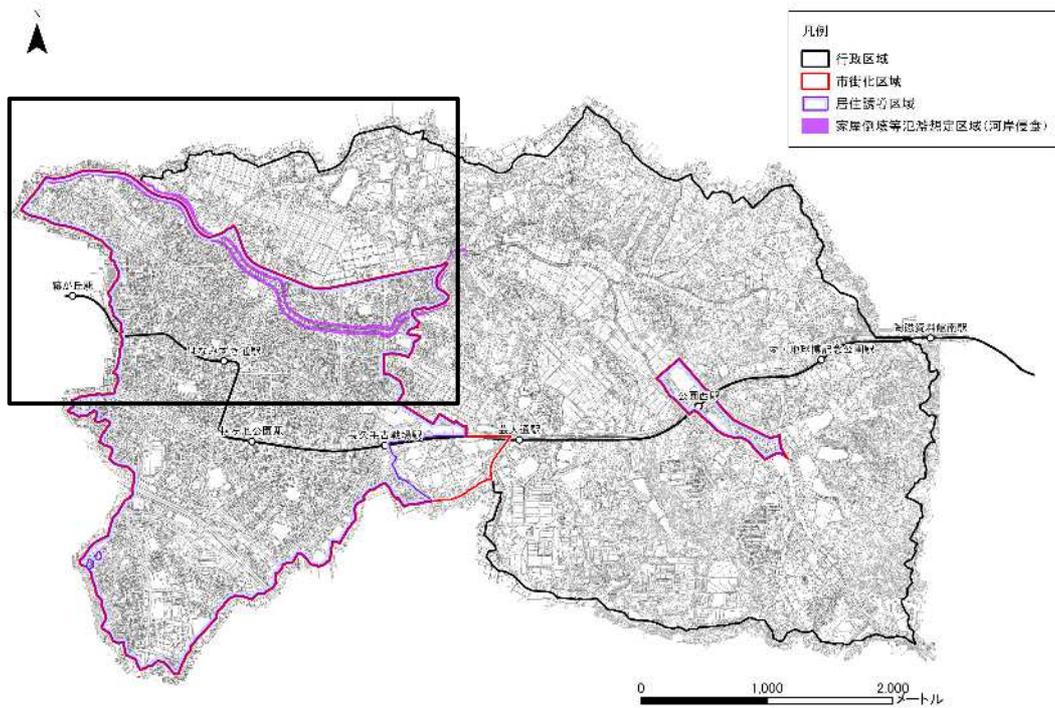
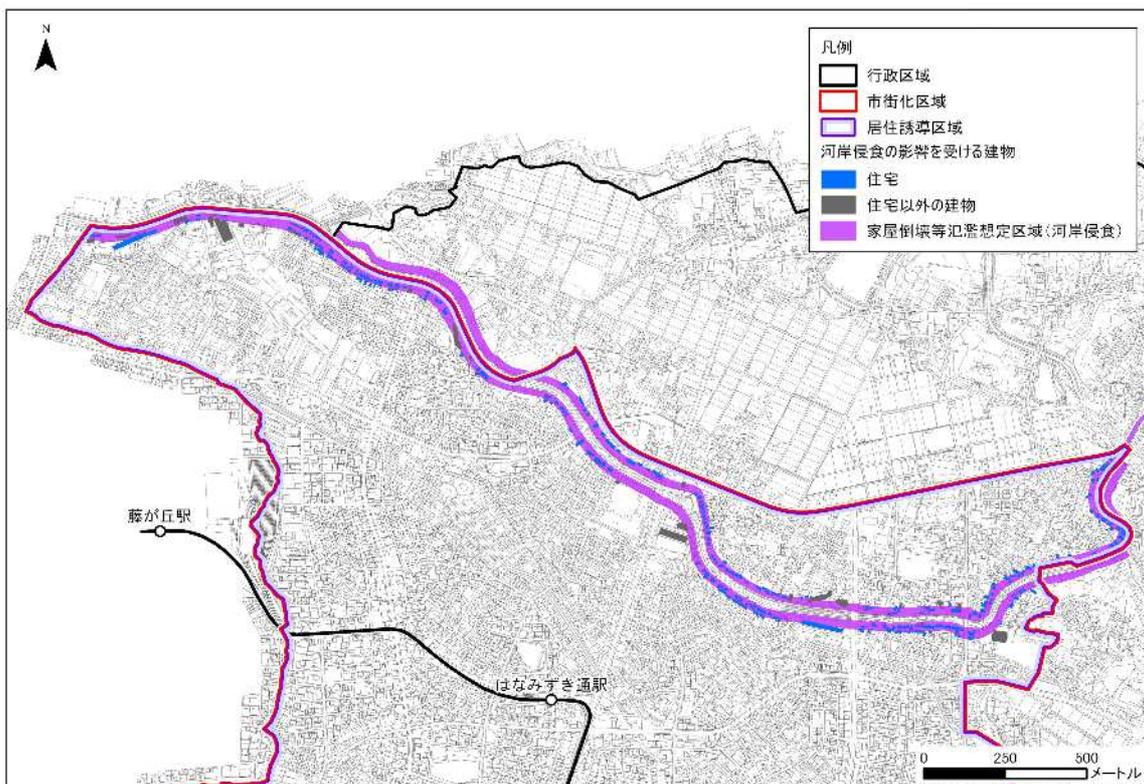


図8：庄内川水系矢田川・香流川流域浸水予想図  
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

（資料：愛知県資料）



河岸侵食が予想されている地域の拡大図

■ 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域が、局所的ではあるものの一部の地域で指定されています。なお「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称「盛土規制法」）に基づく指定区域はありません。

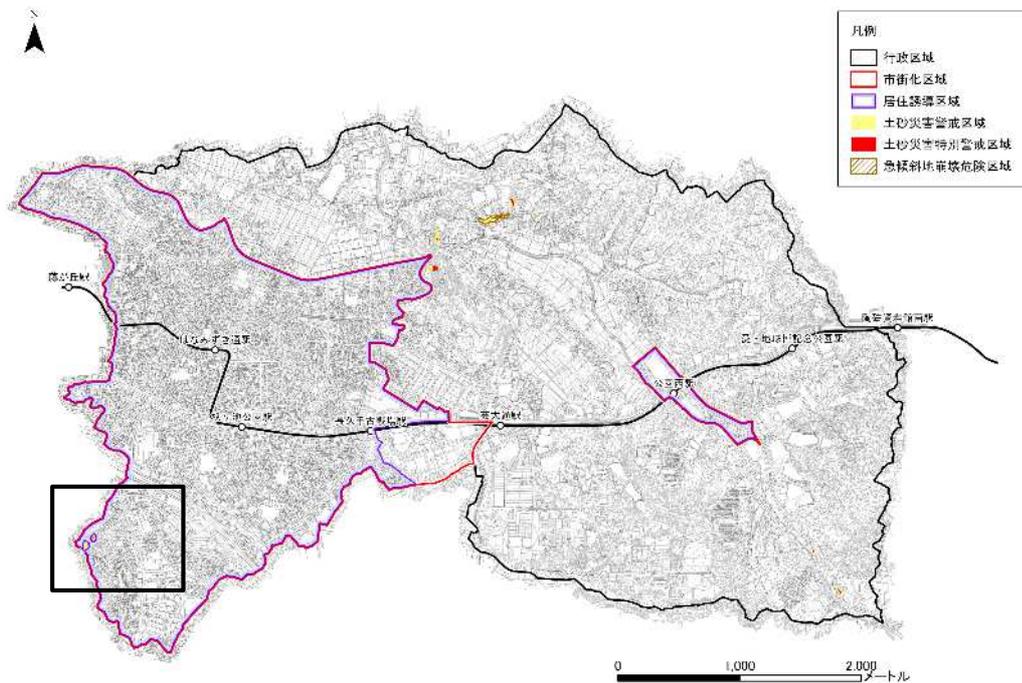
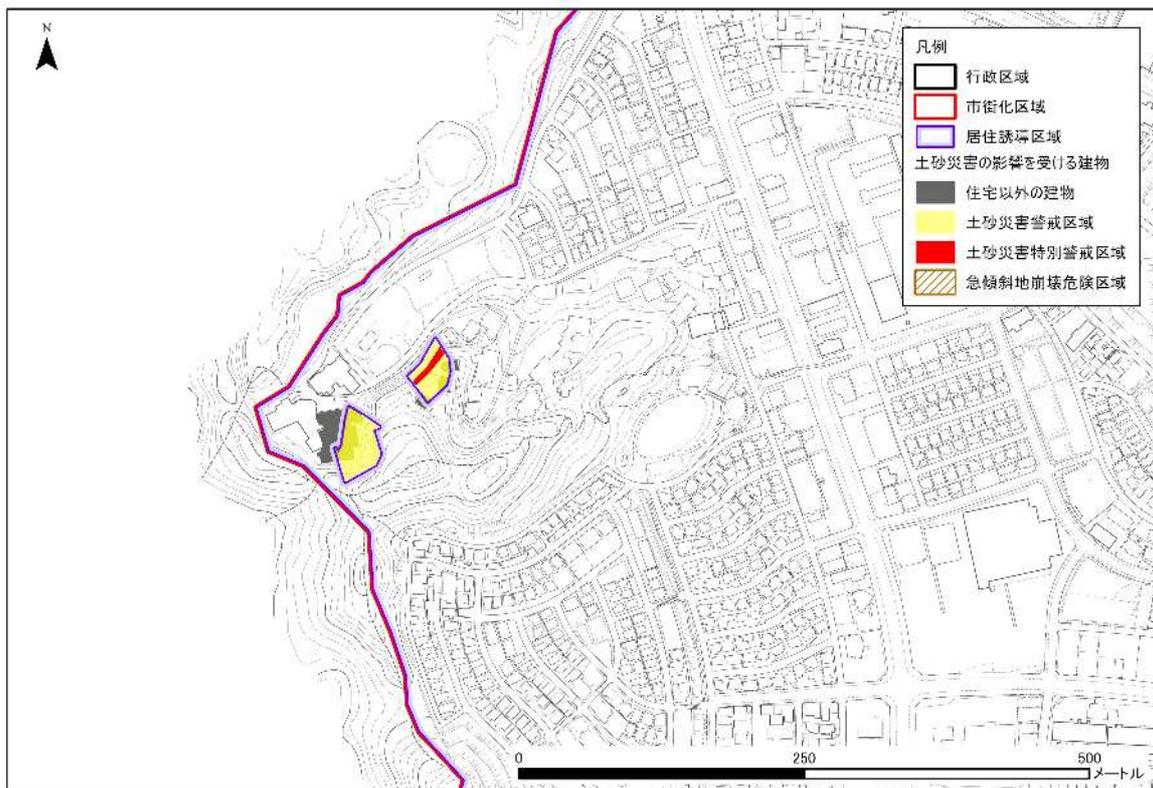


図9：土砂災害警戒区域等の分布状況

(資料：愛知県オープンデータ（マップあいち公開データ）)



土砂災害特別警戒区域に指定されている地域の拡大図

## ■ 震度分布・液状化危険度

南海トラフ地震が発生した場合、本市では震度5強から6強の揺れを観測すると想定されています。また、香流川沿いや本市の南部で液状化が発生する危険性が高いと想定されている地域が局所的にみられます。

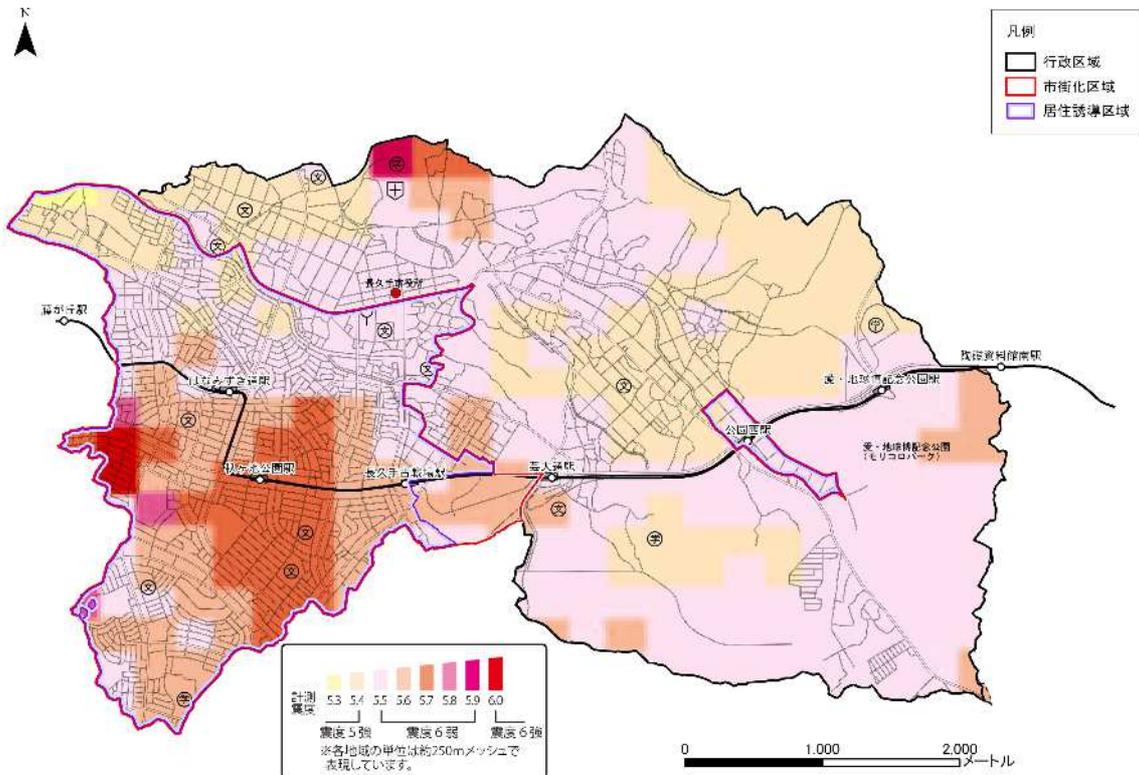


図 10：震度分布

(資料：長久手市防災マップ)

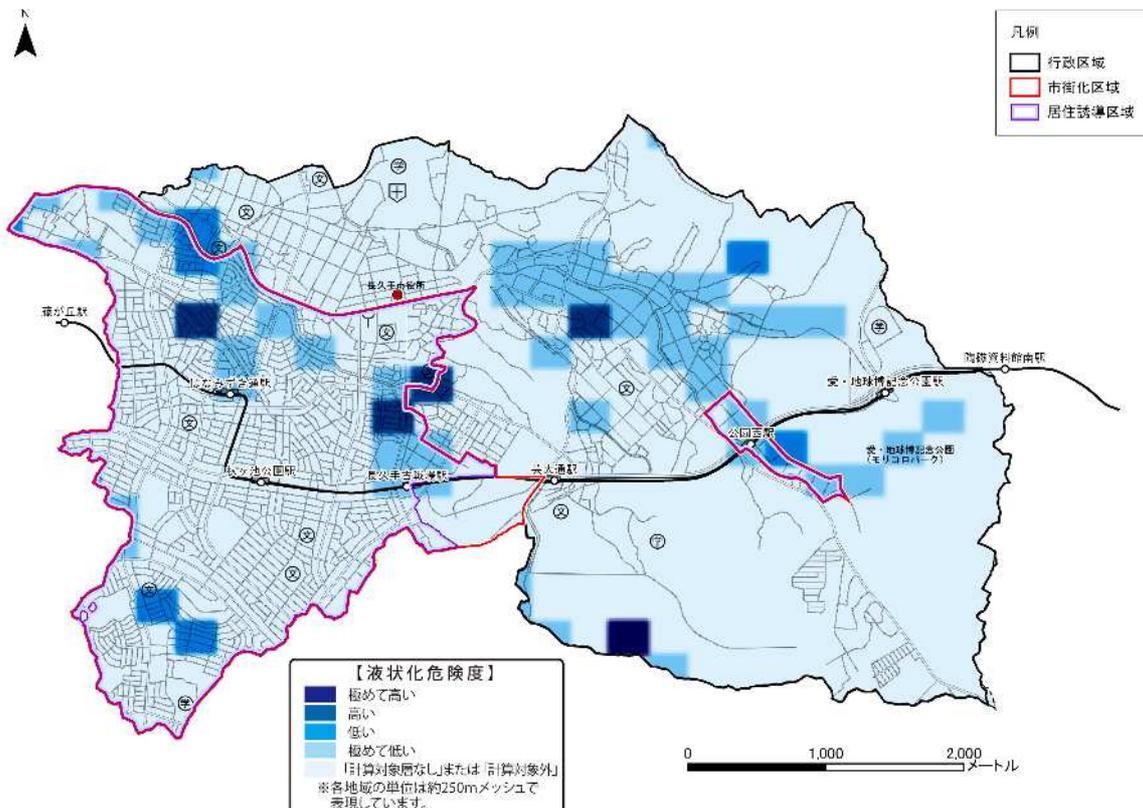


図 11：液状化危険度

(資料：長久手市防災マップ)

## ■ため池浸水想定区域

ため池は市街化調整区域の丘陵部等に分布し、地震等によりため池が決壊した場合の浸水は農地を中心にみられ、市街化区域の一部まで浸水が到達することが想定されますが、おおむね浸水深0.5m未満の浸水となっています。なお、立石池、宮が洞池、長久手新池については、耐震点検が実施され、耐震性があることを確認しています。

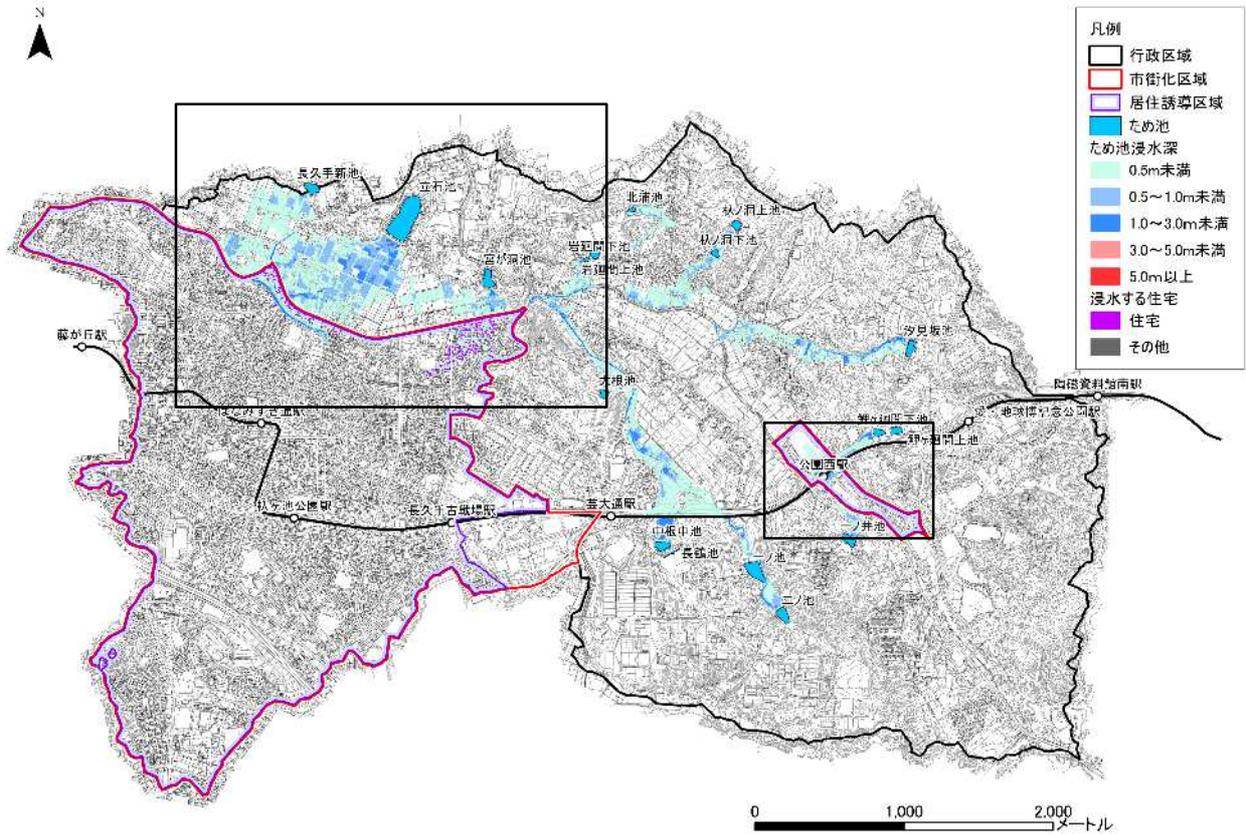
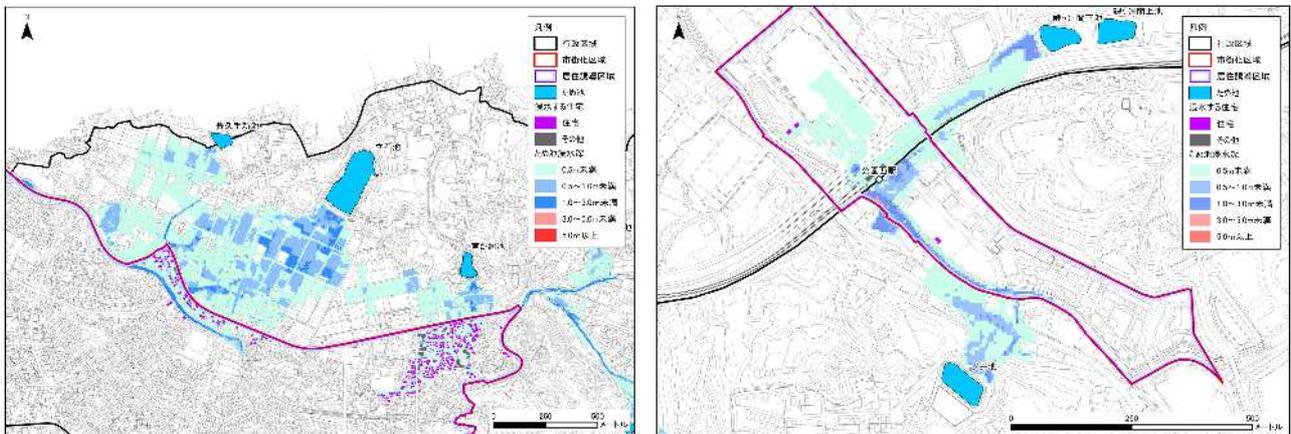


図12：ため池浸水想定区域図

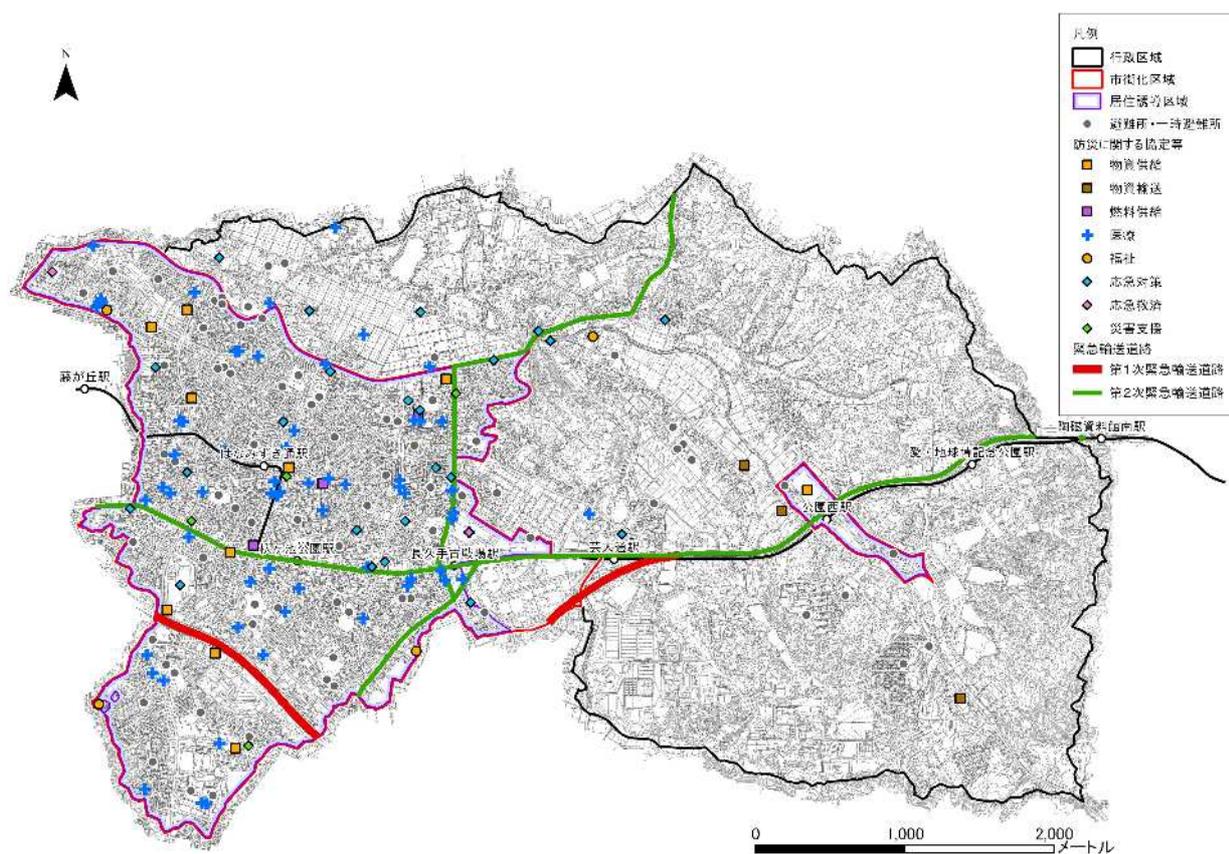
(資料：長久手市ため池ハザードマップ)



浸水が予想されている地域の拡大図

### (参考) 防災に関する協定

本市では、防災協定等により、災害時における民間事業者との連携・協力による災害対応を図ることとしています。

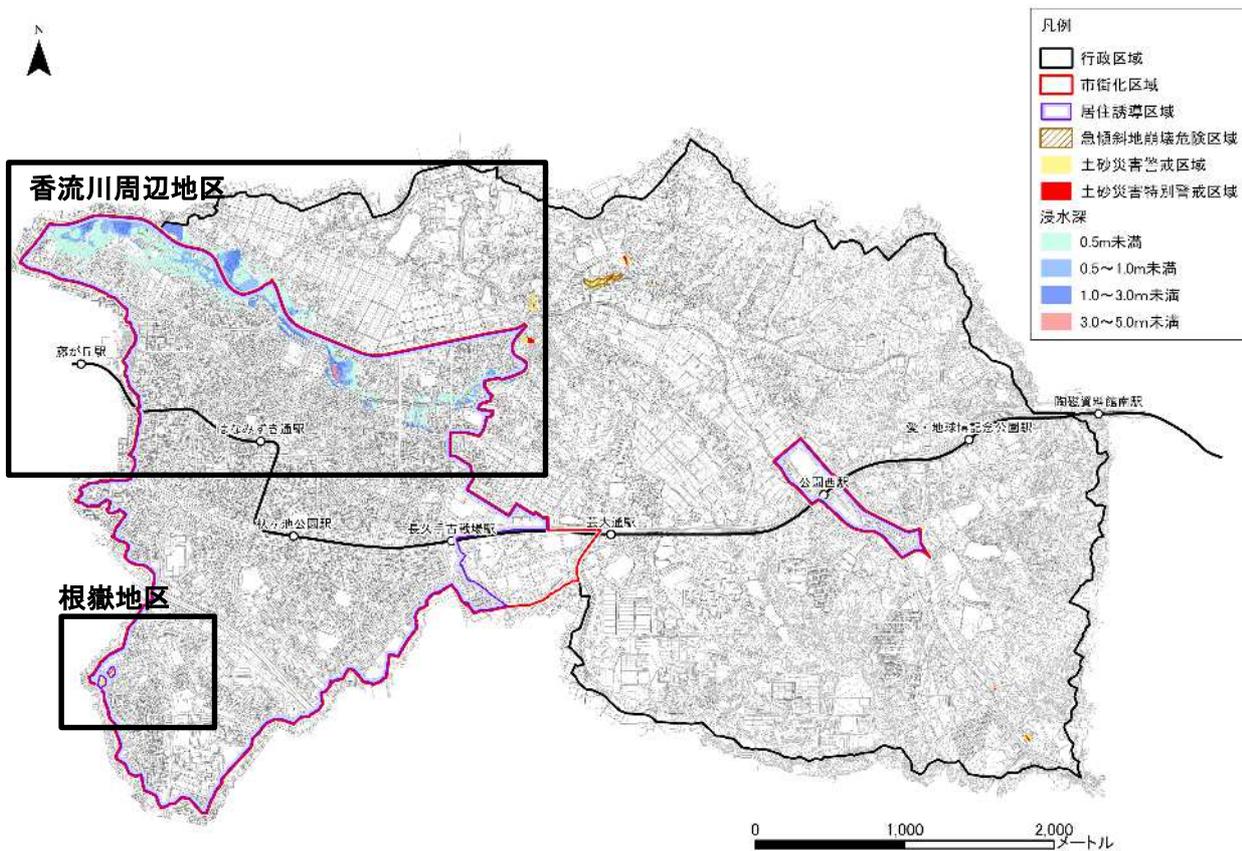


図：防災に関する協定等を締結した協定先

(資料：長久手市 HP)

## (2) 災害リスクの高い地区の抽出

本市において想定されている災害ハザードを踏まえ、以下の2地区を災害リスクの高い地区として抽出します。なお、地震については、影響範囲や程度を即地的に定めることが難しく、市全体を対象とします。



図：庄内川水系矢田川・香流川流域浸水予想図（想定最大規模）と土砂災害警戒区域等の重ね図  
 （資料：愛知県資料、愛知県オープンデータ（マップあいち公開データ））

## 7-3 防災上の課題の整理

### ■水害（洪水）

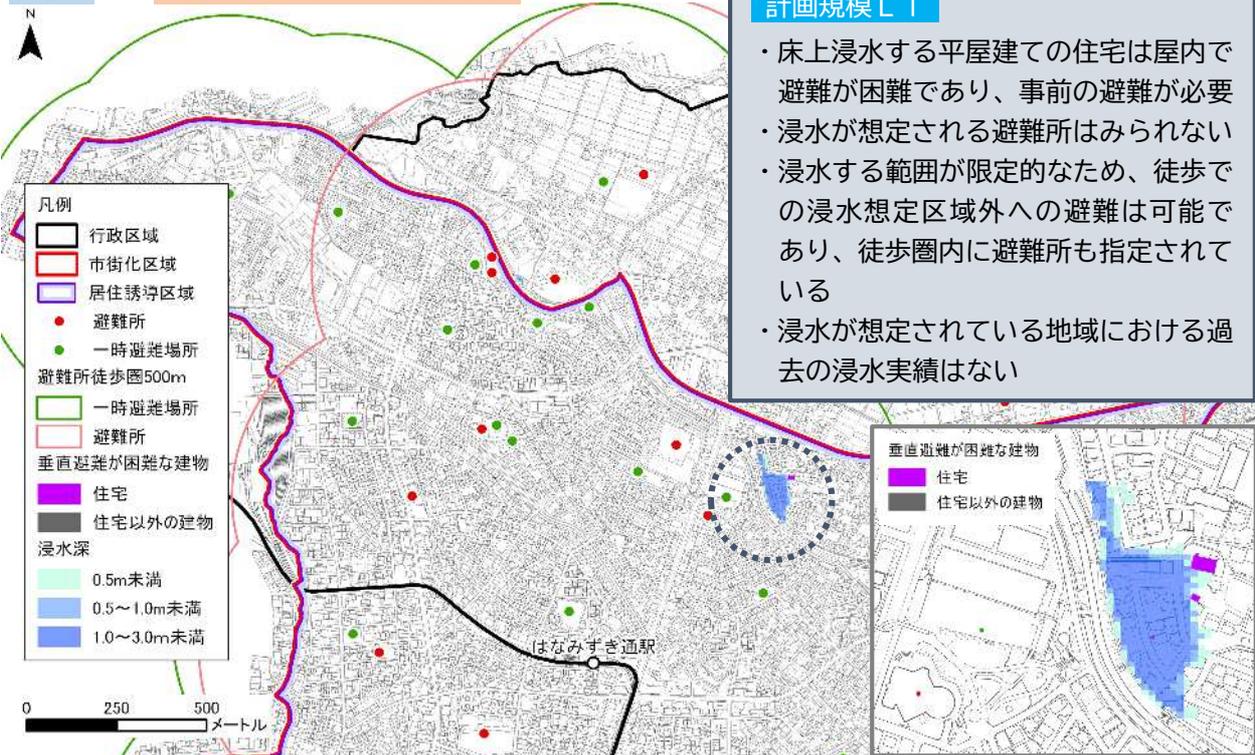
香流川周辺地区において想定される災害ハザードと都市情報を重ね合わせることで、防災上の課題を整理します。

表：課題整理にあたっての分析の視点

災害ハザード		都市情報	分析の視点	
計画規模 L1	浸水深（浸水予想図）	・建物	発生確率が30年に1回の災害で想定される被害等を確認する	・垂直避難が困難で事前に避難が必要となる建物を確認する
		・避難所 ・避難所徒歩圏		・浸水が想定される避難所を確認する ・浸水想定区域から徒歩での避難が可能か確認する
想定最大規模 L2	浸水深（浸水予想図）	・建物	想定し得る最大規模の災害で想定される被害等を確認する	・垂直避難が困難で事前に避難が必要となる建物を確認する
		・避難所 ・避難所徒歩圏		・浸水が想定される避難所を確認する ・浸水想定区域から徒歩での避難が可能か確認する
	家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）	・建物 ・避難所	・河岸侵食により家屋倒壊のおそれがある建物を確認する ・河岸侵食による被害が想定される避難所を確認する	

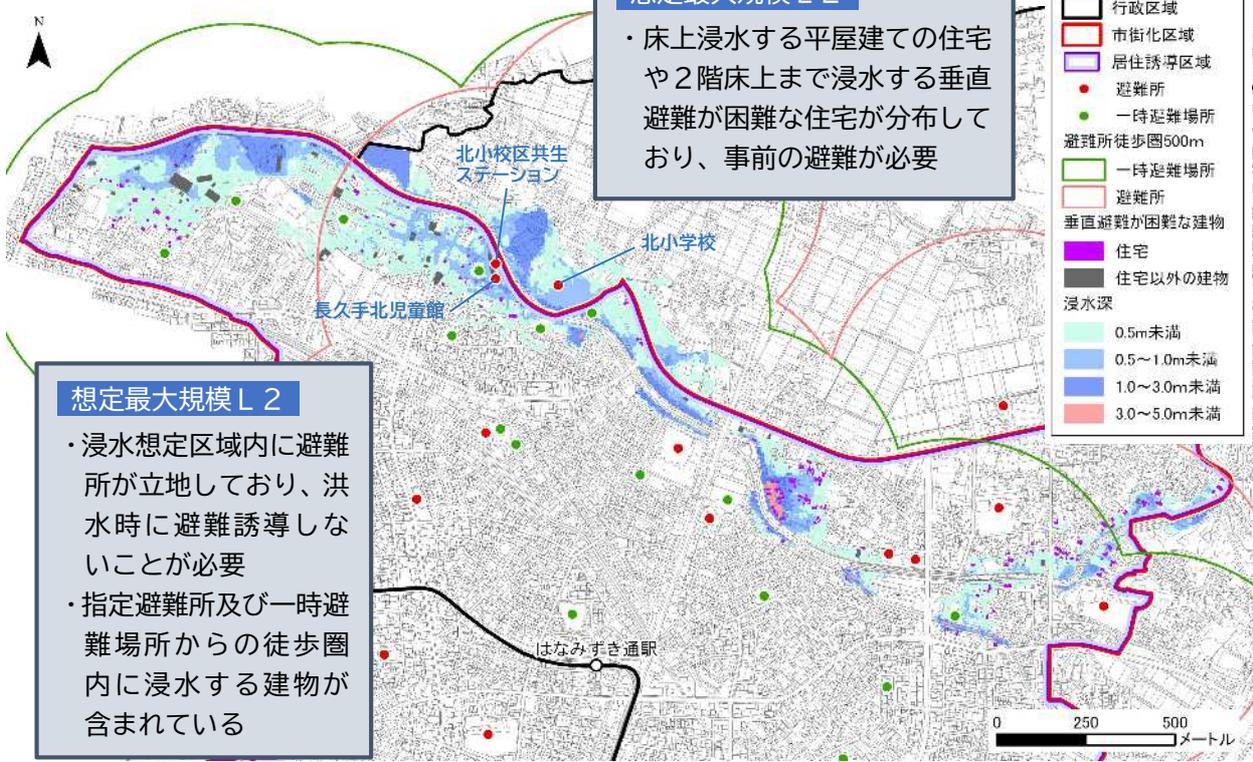
計画規模 L1 ・発生確率が30年に1回の災害で想定される被害等を確認する

浸水深 × 建物、避難所、避難所徒歩圏



想定最大規模 L 2 ・ 想定し得る最大規模の災害で想定される被害等を確認する

浸水深 × 建物、避難所、避難所徒歩圏



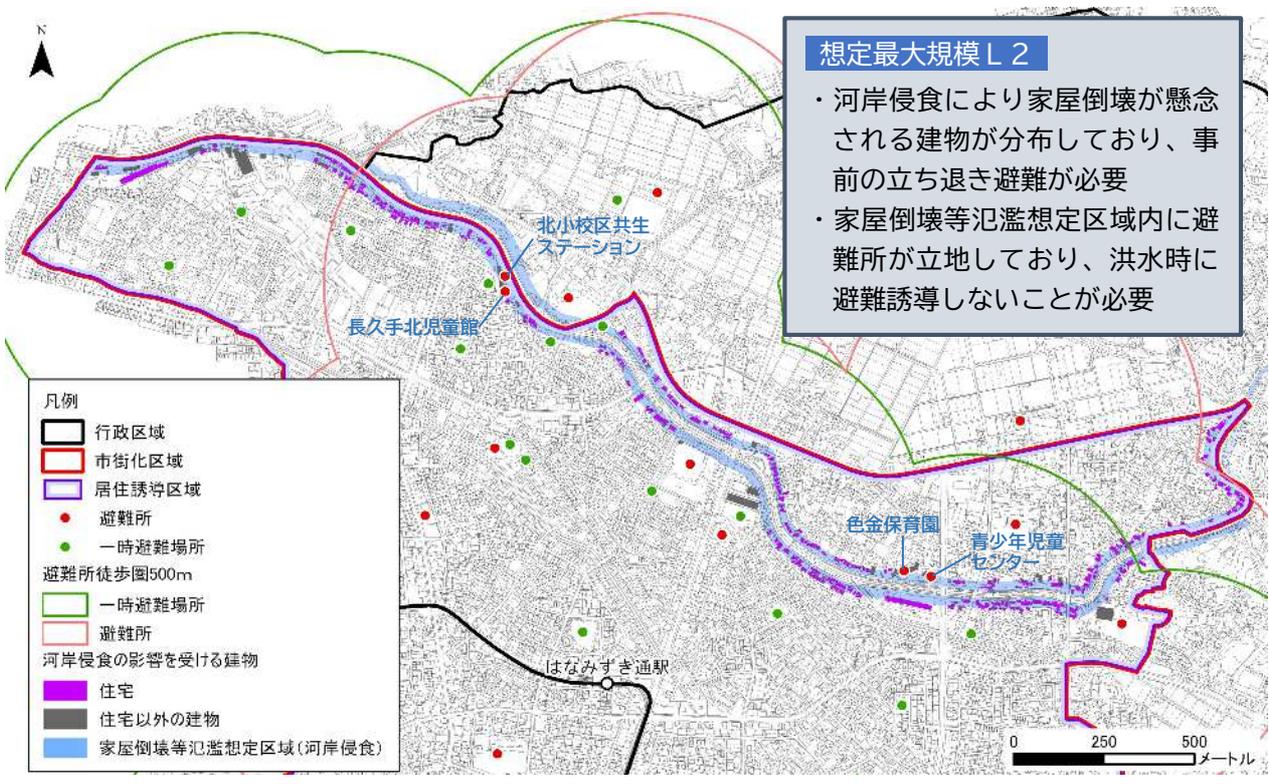
想定最大規模 L 2

- ・ 床上浸水する平屋建ての住宅や2階床まで浸水する垂直避難が困難な住宅が分布しており、事前の避難が必要

想定最大規模 L 2

- ・ 浸水想定区域内に避難所が立地しており、洪水時に避難誘導しないことが必要
- ・ 指定避難所及び一時避難場所からの徒歩圏内に浸水する建物が含まれている

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食） × 建物、避難所



想定最大規模 L 2

- ・ 河岸侵食により家屋倒壊が懸念される建物が分布しており、事前の立ち退き避難が必要
- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域内に避難所が立地しており、洪水時に避難誘導しないことが必要

## ■土砂災害

根嶽地区において想定される災害ハザードと都市情報を重ね合わせるにより、防災上の課題を整理します。

表：課題整理にあたっての分析の視点

災害ハザード	都市情報	分析の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域</li> <li>土砂災害特別警戒区域</li> <li>急傾斜地崩壊危険区域</li> </ul>	建物	土砂災害が懸念される区域内に分布する建物を確認する

### 土砂災害 ・土砂災害が懸念される区域内に分布する建物を確認する

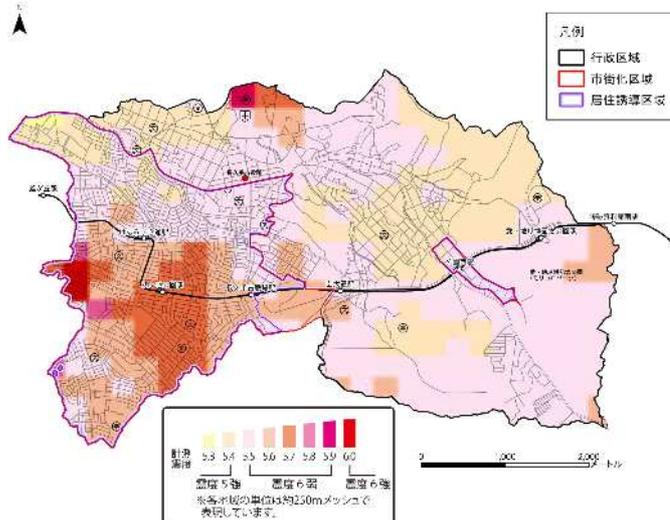
#### 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域 × 建物



## ■地震

地震については、市全体で震度5強から6強の揺れが想定され、影響範囲や程度を即地的に定めることが難しく、市全体で耐震化対策等の対応を図っていくことが必要です。

また、ため池の堤体が決壊した場合、市街化区域の一部に浸水が到達することが想定され、ため池についても耐震化対策を図っていくことが必要です。



図：震度分布（再掲）

## 7-4 防災・減災まちづくりの方針

### (1) 防災まちづくりの考え方

#### ■水害（洪水）

本市においては洪水による浸水が香流川周辺の市街地で想定されています。計画規模（概ね30年に1回の確率）の降雨では、浸水が想定される場所が住宅地の一部に留まっており、こうした計画規模の浸水に対しては、避難対策等のソフト対策により対応していきます。さらに、浸水の低減に向けたハード対策による対応を図っていきます。

一方、想定最大規模の降雨では、香流川周辺が浸水し、垂直避難が困難な建物が分布するとともに、河岸侵食により家屋倒壊が懸念される家屋倒壊等氾濫想定区域内に建物が分布しています。こうした想定最大規模で想定される浸水については、経済的・期間的にハード整備が現実的ではないことから、発生確率を踏まえ避難対策等のソフト対策により対応していきます。

以上のような想定される浸水への対応を図っていくことにより、開発の規制等を行わず、これまで形成してきた市街地を引き続き継承していきます。

#### ■土砂災害

土砂災害の危険性が懸念されるものとして、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域が市内に指定されており、情報周知等、ソフト対策を推進していきます。市街化区域内では根嶽地区において土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が指定されているものの、住宅の立地はみられない状況です。こうした地区については、今後も居住を誘導しないこととします。また、本市には「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称「盛土規制法」）に基づく指定区域はみられないものの、県の取組と連携しながら、今後、危険な盛土等が居住環境に影響を及ぼさないよう、対応していくこととします。

#### ■地震

本市では全域で震度5強から6強の揺れが想定され、局所的に液状化の危険性が高い地域がみられる状況です。このため市全域で耐震化対策等の対策を図っていくこととします。

また、本市にはため池が分布しており、地震などによって破堤した際には、市街地の一部に浸水が達することが懸念されることから、ため池の耐震化対策等の適切なハード対策を推進していきます。

## (2) 取組方針

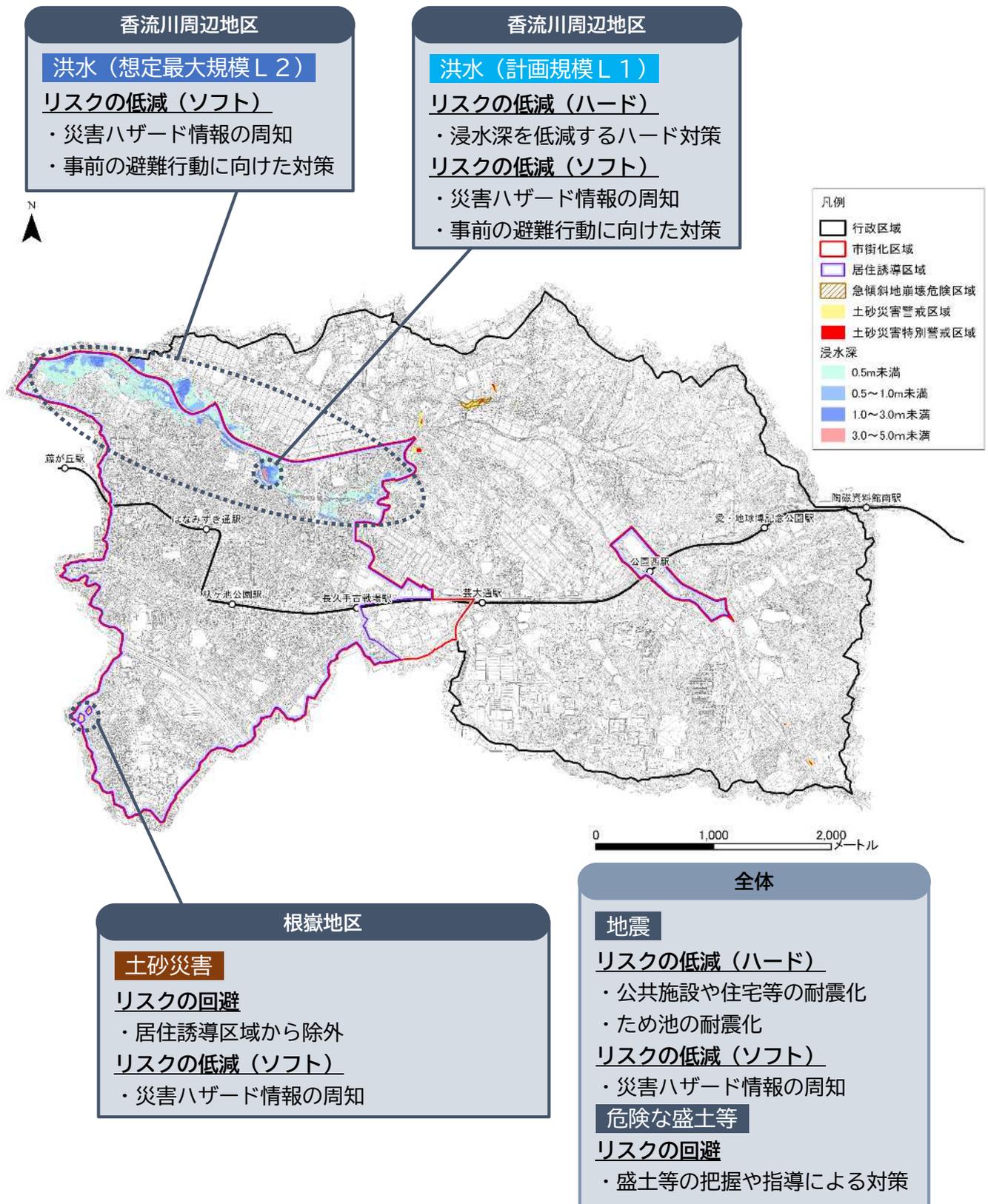
立地適正化計画作成の手引きを参照し、災害リスクの回避、災害リスクの低減（ハード、ソフト）の視点を踏まえ、防災上の課題に対応する取組方針を整理します。

表：取組方針の整理

リスクの回避：災害時に被害が発生しないようにすること
リスクの低減：災害時に発生する被害を低減しようとする事
・ハード 河川整備等のハード対策により災害の防止や被害の低減を図ること
・ソフト 災害発生に際し、確実な避難等のソフト対策により被害の低減を図ること

地区	災害種別	課題	取組方針
根嶽地区	土砂災害	・住宅は土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域内に立地しておらず、引き続き居住を誘導しないことが必要	<p>⇒<u>リスクの回避</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住誘導区域から除外</li> </ul> <p>⇒<u>リスクの低減（ソフト）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ハザード情報の周知</li> </ul>
香流川周辺地区	洪水（計画規模L1）	・床上浸水する平屋建ての住宅は屋内で避難が困難であり、事前の避難が必要	<p>⇒<u>リスクの低減（ハード）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水深を低減するハード対策</li> </ul> <p>⇒<u>リスクの低減（ソフト）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ハザード情報の周知</li> <li>・事前の避難行動に向けた対策</li> </ul>
	洪水（想定最大規模L2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床上浸水する平屋建ての住宅や2階床上まで浸水する垂直避難が困難な住宅が分布しており、事前の避難が必要</li> <li>・河岸侵食により家屋倒壊が懸念される建物が分布しており、事前の立ち退き避難が必要</li> </ul>	<p>⇒<u>リスクの低減（ソフト）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ハザード情報の周知</li> <li>・事前の避難行動に向けた対策</li> </ul>
全体	地震	・市全体で耐震化対策等の対応を図っていくことが必要	<p>⇒<u>リスクの低減（ハード）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設や住宅等の耐震化</li> <li>・ため池の耐震化</li> </ul> <p>⇒<u>リスクの低減（ソフト）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ハザード情報の周知</li> </ul>
	危険な盛土等※	・市全体で危険な盛土等への対応を図っていくことが必要	<p>⇒<u>リスクの回避</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盛土等の把握や指導による対策</li> </ul>

※2023（令和5）年5月に盛土規制法が施行されたことを受け、不法・危険な盛土等に対応が必要であるため整理



図：取組方針

### (3) 具体的な取組及びスケジュール

取組方針に基づいた具体的な取組を整理します。なお、具体的な取組を進めるにあたっては、行政だけでは限界があり、自助・共助・公助の考え方により取組を推進していきます。

表：具体的な取組及びスケジュール

具体的な取組	災害種別			自・共・公			実施主体	スケジュール		
	洪水	土砂	地震	自助	共助	公助		短期 【5年】	中期 【10年】	長期 【20年】
<b>リスクの回避</b>										
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域を居住誘導区域から除外		○				○	市	実施		
宅地造成及び特定盛土等規制法に基づき、盛土等の把握や指導による居住環境の保全		○				○	県・市	検討		
<b>リスクの低減(ハード)</b>										
香流川の護岸整備、河道掘削【庄内川上流圏域河川整備計画、長久手市国土強靱化地域計画】 ※5年に1度の確率の規模の降雨に対応した整備	○					○	県			順次実施
ため池の耐震化(一ノ井池)【長久手市国土強靱化地域計画】			○			○	県	順次実施		
公共施設の耐震化			○			○	市	順次実施		
防災拠点となる新庁舎の整備	○	○	○			○	市	検討		
<b>リスクの低減(ソフト)</b>										
木造住宅耐震改修費補助制度等の補助制度の継続運用			○			○	市	継続		
ハザードマップの作成・配布【長久手市国土強靱化地域計画】	○	○	○			○	市	随時更新		
自主防災活動の推進(自主防災講習会の開催等)	○	○	○	○	○		地域・市	継続		
応急仮設住宅建設候補地台帳の更新【長久手市国土強靱化地域計画】	○		○			○	県・市	随時更新		
避難行動要支援者の避難支援(個別避難計画の作成等)	○	○	○	○	○	○	地域・市	継続		
防災情報入手手段の周知・啓発(メール、LINE、河川カメラ等)	○	○	○			○	市	継続		